



静岡 陸協 会報

第 19 号 (2015年 9 月12日 発行)
 一般財団法人
 静岡陸上競技協会
 〒420-8508
 静岡市葵区鷹匠 1-14-31
 吉野寿ビル 2 F
 TEL・FAX 054-253-9801



静岡陸上競技協会
理事長 鳥井啓市

「二歩、更に一歩を…前期事業報告」

今年には役員改選年度にあたり、副会長河合久光氏（中部陸協会長）、副理事長望月紘一氏（東部陸協理事長）、大塩正則氏（中部陸協理事長）の三氏が退任されました。

河合・大塩の両氏は、静岡マラソン（3月開催）、望月氏は富士山女子駅伝（全日本大学女子選抜駅伝（12月開催）の運営にそれぞれ尽力され、第一回の立ち上げから三回目にあたる本年まで言葉に尽くし得ない多大な貢献をいただきました。心より御礼申し上げますとともに、今後も変わらぬご指導をお願い致したく思う次第です。

後任には副会長北澤春樹氏（中部陸協会長）、副理事長稲葉勝巳氏（東部陸協理事長）、末高義美氏（中部陸協理事長）

がそれぞれ就任されました。

その他、常任理事をはじめとして、諸事情により委員会毎にその部署が変わられた方もおられますが、それぞれ新たな部署にて変らぬご尽力をお願い致したく思います。

では、四月から七月までの前期事業報告をさせていただきます。

第三十一回静岡国際陸上（5/3・エコパ）はワールドリレーズ大会と日程が重なったため、グランプリ種目を変更して行いましたが、男子走高跳、男子棒高跳において世界選手権の標準記録を突破するなど、有力選手がその力を存分に発揮したグランプリシリーズ最終戦となりました。

県高校総体（5/29・31・エコパ）では、男子が浜松工業高校、女子が浜松市立高校が総合優勝を果たしました。

東海大会（6/19・21・エコパ）では、個人種目（男子17種目30名、女子9種目16名）、リレー種目（男子3チーム、女子1チーム）が全国大会（7/29・8/2・和歌山）に駒を進めました。全国大

会では平常心を失わず、適度な緊張感を楽しみと捉え、全国の仲間達と広く交流し、かつ競技を通して結果をも求める頑張りを見せて欲しいと思います。

第九十九回日本選手権（6/26・28・新潟）では、男子一〇〇m高瀬慧君（富士通）、男子八〇〇m川本奨君、男子やり投げ新井涼平君、女子やり投げ海老原有希さん、十種競技（7/4・5長野）右代啓祐君（いずれもスズキ浜松AC）がそれぞれ普段の力を存分に発揮する形にて優勝を果たしました。

第三十回中学選抜陸上（7/4エコパ）、第六十一回県中学通信（7/18・19エコパ）において、男子（48）名、女子（26）名が標準記録を突破し、男女四×一〇〇mR優勝の二チームと共に、全国中学陸上（8/18・21・北海道）への出場を決めました。中学生という発展途上にある若い力を存分に発揮して、悔いの残らぬ大会にして欲しいと願っています。

国際競技会では、第一回アジアユース選手権（5/8・11・カタール）には、男子二〇〇mアマンゼ・エゼンバ航大君（浜名一年）、男子五〇〇m競歩川野将虎君（御殿場南二年）、女子五〇〇m競歩木村加奈さん（御殿場南二年）が出場し、木村さんが見事に銅メダルを獲得しました。

また、第九回世界ユース選手権（7/15・19・ロシア）には男子四〇〇mに北原涼太君（東海大翔洋二年）が出場しました。国際大会出場という貴重な体験で得た、これまでに味わったことのない緊張感や高揚感を自分の全身に記憶さ

せ、その経験に基づく学習の全てを今後の競技に役立たせ生かして欲しいと切に願うところです。

第二十一回アジア選手権（6/3・7・中国）には、スズキ浜松ACから五名が出場し、十種競技で中村明彦君が優勝、川本奨君（男子八〇〇m三位）、村上幸史君（男子やり投げ三位）清田真央さん（女子五〇〇m四位）原翔太君（男子二〇〇m七位）と、全員が入賞を果たしました。これぞまさしく実績が証明する無限の力量と言えます。

グランプリ大会、日本選手権大会の結果から次の五名の選手達、高瀬君（男子一〇〇m・二〇〇m）新井君（男子やり投げ）右代君・中村君（十種競技）海老原さん（女子やり投げ）が世界陸上選手権（8/22・30・北京）日本代表に決まりました。

世界のアスリートが集結しその能力を磨き合う、いやが上にも気持ちが高ぶるこの舞台で自分の限界に挑戦し、まだ見ぬ自分の力の覚醒を味わっていただきたいものと期待を寄せています。

最後になりましたが、静岡県陸上選手権会場において県陸上顕彰表彰を行い、特別功労者表彰河合久光氏をはじめ、永年勤続功労者（四名）、功労者（六名）、日本記録樹立者（一名）、優秀選手（五名）、日本陸連中高校生優秀選手（二名）、S級審判（九名）にそれぞれ和田会長より賞状・記念品を贈呈させていただきました。その他規定により、各地区にて一〇七名の審判員を表彰させていただきました事、合わせて報告させていただきます。

八月以降も多くの大会が開催されま
す。殊に今年の夏は酷暑に見舞われ、本
誌発刊の頃に至っても尚、残暑厳しき
日々が予想されます。会員の皆様には健
康に十分留意され、各種大会に役員・審
判員としてさらなるご協力・ご尽力を賜
りますようお願い申し上げます。

静岡陸上競技協会顕彰受賞者

1 特別功労者表彰

河合久光

2 永年勤続功労者表彰

望月紘一 大塩正則 松村吉郎

瀧 義弘

3 功労者表彰

稲本多津郎 東部・伊東市

藤原憲一 東部・南伊豆町

谷米康伸 中部・富士市

川端景規 中部・静岡市

伊藤市夫 西部・浜松市

渡瀬三男 西部・御前崎市

4 日本記録樹立者表彰

右代啓祐 スズキ浜松AC 日本選手
権混成 十種競技 八三〇八点 優勝

5 優秀選手表彰

松本沙耶子 都留文科大 日本ジュニ
ア選手権 一〇〇m 11秒84 優勝

三郷実沙希 スズキ浜松AC 日本選
手権 三〇〇mSC 9分49秒85 優
勝

柏木惇 浜松大平台高校 全国高校定
通制 砲丸投 12m05 優勝

アマンゼ・エゼンバ航大 浜松陸上
ジュニアオリンピック A二〇〇m 21
秒82 優勝

秒82 優勝



嶋野一輝 浜松湖東中 ジュニアオリ
ンピック B一〇〇mH 14秒67 優勝
公益財団法人日本陸上競技連盟二〇一四
年度 中学生・高校生優秀選手章
〔中学生〕 松島彰吾
〔浜松市立北浜中学校〕
〔高校生〕 松本奈菜子
〔浜松市立高等学校〕
公益財団法人日本陸上競技連盟 S級審
判委嘱者
佐藤哲朗(御殿場市)、植田浩己(牧
之原市)、奥島修(静岡市)、亀山健上(静
岡市)、竹林利明(菊川市)、鶴田昌一(掛
川市)、西尾利夫(袋井市)、福嶋泰治(浜
松市)

第七十回県陸上競技選手権大会選手権者

(7/11~12・草薙)

男子

一〇〇m

窪田 駿(静岡大)

二〇〇m

平野直人(アローズジャパン)

四〇〇m

近松 亮(東海大)

八〇〇m

矢部泰志(イサシT・C)

一五〇〇m

中西玄気(静岡大)

五〇〇〇m

山本安志(スズキ浜松AC)

一〇〇〇〇m

伊藤太賀(スズキ浜松AC)

一一〇mH

芥川千央(国際武道大)

四〇〇mH

服部達哉(明治大)

三〇〇〇mSC

荻野太成(加藤学園高)

五〇〇〇mW

青山福泉(東京学芸大)

四×一〇〇mR

常葉大チーム

四×四〇〇mR

東海大チーム

走り高跳び

鈴木真悟(福島大)

棒高跳び

笹瀬弘樹(スズキ浜松AC)

走り幅跳び

松原 奨(東海大)

三段跳び

山崎幸太(静岡陸協)

砲丸投げ

赤間祐一(筑波大)

円盤投げ

石塚大悟(国士館大)

ハンマー投げ

森 大輝(大阪体育大)

やり投げ

堀水航司(東海大)

女子

一〇〇m

渡邊ひかる(駿河台大)

二〇〇m

渡邊ひかる(駿河台大)

四〇〇m

名倉彩夏(中京大)

八〇〇m

土屋優実(順天堂大)

一五〇〇m

竹山楓葉(関西外語大)

五〇〇〇m

清田真央(スズキ浜松AC)

一〇〇〇〇m(エントリー選手欠場)

一〇〇mH

渡邊実歩(国士館大)

四〇〇mH

板倉郁音(清流館高)

三〇〇〇mSC

平野文珠(松崎高)

五〇〇〇mW

八木原 楓(東海大)

四×一〇〇mR

常葉大チーム

四×四〇〇mR

15 m 66

16 m 43

43 m 13

61 m 50

63 m 75

11 秒 92

24 秒 93

54 秒 66

2 分 12 秒 58

4 分 37 秒 78

16 分 19 秒 57

13 秒 79

1 分 02 秒 41

11 分 27 秒 14

25 分 35 秒 44

47 秒 69



常葉大チーム	3分55秒52
走り高跳び	
久保田世菜 (駿河総合高)	1 m 61
棒高跳び	
戸倉未稀 (磐田南高)	3 m 50
走り幅跳び	
三浦菜穂 (静岡東高)	5 m 73
三段跳び	
鈴木佑実 (至学館大)	12 m 23
砲丸投げ	
増田奈緒 (静岡市立高)	12 m 29
円盤投げ	
影山絢香 (富士市立高)	35 m 42
ハンマー投げ	
武川美香 (スズキ浜松AC)	57 m 21
やり投げ	
長島里緒奈 (日本体育大)	45 m 63

静岡国際陸上競技大会



五月三日、エコパスタジアムで第三十一回静岡国際陸上競技大会(日本グランプリ第四戦)兼第十五回世界陸上競技選手権大会代表選手選考競技大会(北京)兼第二十八回ユニバーシアード日本代表選手選考競技会(光洲)が行われた。海外七カ国、男女十五人の招待選手と日本選手が熱い戦いを演じた。グランプリ種目、男子八〇〇mはスズキ浜松ACの川元選手(1分44秒22)、男子棒高跳びはミズノの荻田選手(5m65)らが優勝。女子一〇〇m障害はエディオンの木村選手(13秒27)、女子八〇〇mは東大阪大敬愛高の石塚選手(2分6秒98)、女子走り高跳びは東大阪大の津田選手(1m81)らがそれぞれ第一位に輝いた。また一般種目の男子二〇〇mは富士通の高瀬

選手(20秒67)が優勝した。その他サブイベントとして、小中学生種目のリレーなども行われスタンドからは大きな声援がとんだ。

県中学総合体育大会陸上競技大会

七月十八、十九日、エコパスタジアムで第六十八回大会が行われた。学校別では男子総合第一位浜松市立北浜中学(37点)、第二位浜松市立曳馬中学(30点)、第三位函南町立函南中学(25点)、第四位浜松市立三方原中学(24点)、第五位浜松市立積志中学(23点)、第六位浜松日体中学(20点)。女子総合第一位浜松市立光が丘中学(42点)、第二位静岡市立東中学(23・5点)、第三位吉田町立吉田中学(21点)、第四位沼津市立第三中学(19点)、第五位浜松市立三方原中



学(18・5点)、第六位浜松市立積志中学(18点)以上の結果でした。また、全国中学標準記録突破者は七月四日の県中学選抜陸上と合わせると男女七十四名の選手が出場権を得た。

県高校総合体育大会陸上競技大会



五月二十九、三十一日、エコパスタジアムで第六十三回大会が行われた。学校別では男子総合第一位浜松工業高校(32・5点)、第二位浜松市立高校(31点)、第三位加藤学園高校(27点)、第四位浜名高校(24点)、第五位浜松日体高

校(23点)、第六位菊川南陵高校(21点)。女子総合第一位浜松市立高校(52点)、第二位袋井高校(27点)、第三位駿河総合高校(23点)、第四位浜松西高校(22点)、第五位富士市立高校(20点)、第六位日本大学三島高校(19点)以上の結果でした。

また、六月十九(二十一日)東海高校総体陸上競技大会を経て全国高校総体に男女七十人の選手が出場権を得た。

平成二十七・二十八年度

一般財団法人静岡陸上競技協会役員

- ・会長 和田隆保
- ・副会長 遠藤 榮 北澤晴樹
- 池田 毅
- 鳥井啓市
- 理事 稲葉勝巳(東部理事長)
- 副理事長 末高義美(中部理事長)
- 森下哲治(西部理事長)
- 眞下達雄 矢邊 進
- 福良勝己 仁科仁郎
- 佐藤常保 村松義明
- 荒川 功 山下眞里
- 山口嘉一
- 常任理事 大原一夫 神山心一
- 小林一幸 原田洋一郎
- 岩本穰兒 神谷晃尚
- 松井清和
- (以上七名に会長、副会長、理事長、副理事長)
- 監事 林 昭仙 石上雅宏
- 外波山雅章
- 事務局長 大原一夫
- 総務委員長 石野吟策

- ・競技委員長 永田勝久
- ・審判委員長 井出幸夫
- ・強化委員長 吉田健一
- ・普及委員長 豊田博幸
- ・情報システム委員長 三枝宜男
- ・施設委員長 久保田金也
- ・記録委員長 赤堀順一
- ・広報委員長 橋本美智夫
- ・スポーツ科学委員長 齊藤史門

編集後記

今夏、日本列島は酷暑日が多く本県も例外ではない。県内各大会とも暑いなか順調に進んだ。今シーズン、中学・高校生選手で部員が減少しているなか全国大会出場権を得た一四四人にエールをおくりたい。また競技会を支える審判員の皆さんへ日頃の感謝も忘れてはならない。

海外では世界陸上が中国北京で開催、今回は世界二〇七カ国からの参加。この大会に県内ゆかりの選手五名が日本選手団の一員として出場している。大舞台での活躍を期待し、来年のリオ五輪、さらに五年後の東京五輪に後輩たちが数多く続くことを願う。

(編集)

- 県陸協広報委員会・県陸協事務局
- 橋本美智夫(編集・文責)
- ・水谷陽介(編集委員)
- ・片岡佳美(編集委員)
- 写真(陸協報道 大多和・橋本)
- (印刷・大日三協株)

Photograph



(静岡県選手権大会)



(静岡リレーカーニバル)



(県中学通信陸上大会)



(静岡国際陸上大会)



(東海高校総体陸上大会)



(世界陸上大会)



(県ジュニアクラブ選手権大会)

